

今年は季節の進みが非常に早く、早くもアカシジミやウラゴマダラシジミが出始めている様です。自宅周辺の公園では、真っ白なアカボシゴマダラが多く飛び回り、コムスジの姿も見られます。これからは蝶の種類も急速に増えてくることでしょう。(総務幹事：田中和夫)

【5月例会】

日時：平成30年5月15日(火)(第3火曜日) 午後6:30~8:30

場所：吉祥寺、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室

講演：中谷貴寿氏 「三角ケースは誰の発明か？蝶類採集用具の変遷史」

藤塚弘氏 「19世紀欧州 蝶類図譜の世界」

【今後の例会予定】 午後6:30~8:30

6月19日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：井原沙緒里氏 足立区生物園の紹介

添徹太郎氏

7月10日(火)(第2火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：相澤和男氏 「オキナワカラスアゲハの斑紋変異」

8月5日(日)(第1日曜日、13:30~15:00、たましんRISURUホール(立川市民会館), 1F会議室)

講演：池田奈那子・池田博子氏

福田晴男氏 15:00~16:00 品評会

合宿ほか

7月7日(土)~8日(日) 夏合宿 立川市八ヶ岳山荘

8月1日(水)~2日(木) 親子合宿 立川市八ヶ岳山荘

【連絡事項】

1. 「会員専用ホームページ」

「多摩虫会員専用ホームページや、付随する出版物バックナンバーやミニたま等をご覧になるときに必要IDとPW(パスワード)が5月1日から変更されました。

新規ID/PWは、新年度会費を納入された方のみにお送りしています。

会費を納入しているのに新規ID/PWが届いていない方がいましたら、連絡ください。

(IT幹事：鈴木陽花、中村清：it@tama-64.sakura.ne.jp)

2. 「新入会員の紹介」:

吉成政恵(ヨシナリ マサエ) : E-Mail: maosiro@yahoo.co.jp

住所：〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台1-3-1415

臼杵浩志(ウスキ ヒロユキ) : E-Mail: usukihry2@gmail.com

住所：神奈川県横浜市緑区いぶき野20-6

鷲崎玲太(ワシザキ リョウタ) : E-Mail: mina.nene.m_u_@docomo.ne.jp

住所：神奈川県横浜市あかね台2-17-25

再入会

小沢英之(オザワ ヒデユキ) : E-Mail: uts2_ozawa@yahoo.co.jp

住所：〒135-0034 東京都江東区永代1-12-5-501

3. 『寄贈誌・新着交換会誌、その他』

下記の寄贈図書・交換会誌が送られてきています。5月例会で回覧します。

尚、本図書も貸し出し対象と致しますので、貸し出し希望の方はお申し出ください。

寄贈図書

1. 大阪昆虫同好会 大昆紳士録 2018
2. 同上 Crude 創立 50 周年記念号
3. 同上 大昆 のせ No. 47
4. NRC ゆずりは No. 76
5. パルテノン多摩 ニュータウン誕生

交換会誌

1. ホシザキグリーン財団 研究報告 第 21 号
2. 同上 研究報告特別号 第 20 号・第 21 号
3. 同上 環境修復プロジェクト報告書 平成 30 年 3 月
4. 同上 HOWP No. 46・47・48・49
5. 山陰むしの会 すかしば No. 65
6. 同上 いずも虫だより No. 119
7. 千葉県昆虫談話会 房総の昆虫 No. 61
8. 相模の蝶を語る会 相模の記録蝶 No. 32
9. 埼玉昆虫談話会 寄せ蛾記 168 号
10. 岡山昆虫談話会 みちしるべ 第 54 号
11. 神奈川昆虫談話会 神奈川虫報 No. 195
12. 同上 花蝶風月 169

グループ多摩虫事務局 大野和美

【4月例会 概要】

4月例会が4月17日(火)、武蔵野公会堂第1第2合同会議室にて開かれ、36名の出席者がありました。この日は講演2本のうち1本が、多摩虫例会では初となる朗読でした。

1. 朗読の会に所属している伊藤彩さんがこの日読んだのは、鳥飼否宇の「昆虫探偵—シロコパκ氏の華麗なる推理」(光文社文庫, 2005)に収められた「生けるアカハネの死」でした。

「擬態」がテーマとなって、毒のあるベニボタルに擬態したアカハネムシが、自分の仲間が次々に襲われる事態を探偵助手ヤマトゴキブリの葉古に相談し、その犯人を突き止めるというストーリーでした。音響担当のスタッフも同行され、文字が抑揚と声色と効果音により脚色されるということも威力を発揮ものかというひとときで、終了後は皆、呑み込まれたような表情でした。

2. もう一つは小田康弘さんによる「タテハチョウ亜科の雌雄差」の講演でした。

小田さんは写真により判定できる蝶の種差や雌雄差についての権威ともいえるべき存在で、既に発行されている図鑑からも誤同定など幾つも見つけておられます。

この日は特に判定の困難なタテハチョウ亜科が採り上げられ、雌雄差のクイズや判定のポイントなどの説明があり、かなり濃密な時でした。

なお、写真は伊藤さんの朗読については撮り忘れてしましまして、お預かりした脚本の写真を掲載、伊藤さんのお姿は懇親会の写真にあります。

(企画幹事：北川朝生)

4月例会

2018.04.17

伊藤彩さん 朗読

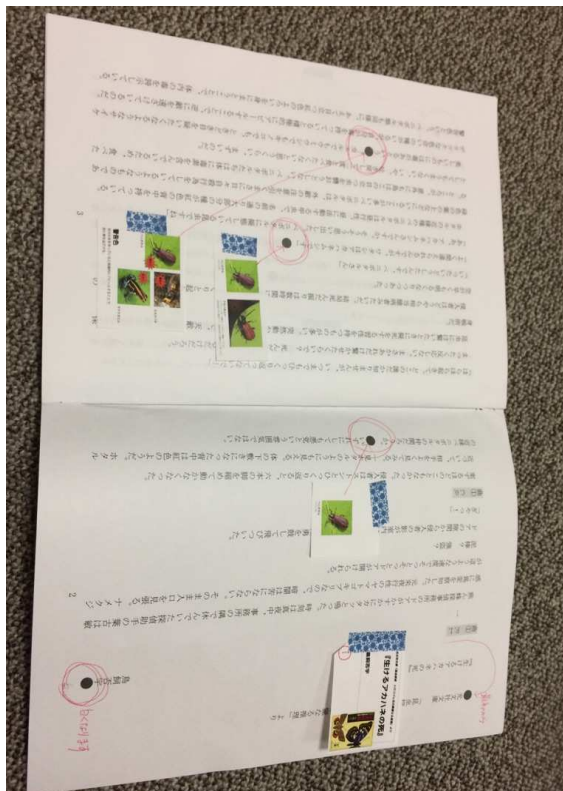
「生けるアカハネの死」

鳥飼否宇

「昆虫探偵—シロコバク氏の華麗なる推理」より



演者の小田さん



朗読の脚本

◆近縁種識別の連載

◆月刊むし・近縁種の識別連載

連載回数	題名	掲載号
(1)	サトキマダラシカガとヤマキマダラシカガ	14年1月号
(2)	ヤマキチョウとヒメキマダラシカガ	15年1月号
(3)	スジグロヤバネセセリとトリグロヤバネセセリ	15年3月号
(4)	オオミドリシジミ属7種(前編・種数)	15年7月号
(5)	オオミドリシジミ属7種(中編・種数)	15年8月号
(6)	オオミドリシジミ属7種(後編・性差)	15年10月号
(7)	イチモンジチョウとアサミチョウ	16年1月号
(8)	スジグロシロチョウとヤマトスジグロシロチョウ(春型)	16年4月号
(9)	スジグロシロチョウとヤマトスジグロシロチョウ(夏型)	16年6月号
(10)	アカシジミとキタアカシジミ	16年8月号
(11)	サトウレンヒョウモンとヤマウレンヒョウモン	16年11月号
(12)	カラスアゲハとヒメカラスアゲハ	17年2月号
(13)	コヒョウモンとヒョウモンチョウ(本州中部産)	17年4月号
(14)	オナガシジミ、ウスイロオナガシジミとスイロオナガシジミ	17年7月号
(15)	アカセセリ、ユキマダラセセリとヒメマダラセセリ	18年1月号
(16)	ヒシジミ属3種	18年3月号
(17)	キタテハとシータテハ	18年11月号(予定)

月刊むし連載タイトル



図鑑の間違い指摘



キタテハ雌雄当てクイズ

小田康弘氏 「タテハチョウ亜科の雌雄差」

二次会の風景



伊藤彩さん(左)